

日本体育・スポーツ経営学会 第48回 研究集会  
及び 東北学院大学教養学部地域構想学科特別講義

テーマ：「震災復興とスポーツの力」



【プログラム】

◇受付 12:30～（記帳のみ行いますが、学会員の方には配布資料をお渡しいたします） 220 教室前

I 基調講演 「大震災が地域 NPO にもたらしたものは」

◇松村 和則 氏（筑波大学） 13:00-14:00 泉キャンパス 2 号館 220 教室

II 講演 「障がい者スポーツからアダプテッド・スポーツへ -災害に備えたつながりづくり-

◇行實 鉄平 氏（徳島大学） 14:00-14:30 泉キャンパス 2 号館 220 教室

I 及び II 司会 植田 今日子（東北学院大学）

<休憩及び教室移動> → （この時間に、地域福祉実習室前にて改めて受付をさせていただきます）

III パネルディスカッション「震災とスポーツクラブ」

○復興支援とスポーツの潜在力

木間 奈津子 氏（NPO 法人アクア夢クラブ）

後藤 小百合 氏（NPO 法人多賀城市民スポーツクラブ）

其田 雅美 氏（東北学院大学 災害ボランティアステーション運営委員）

15:00-16:30 泉キャンパス 5 号館 地域福祉実習室

ファシリテーター 天野和彦（東北学院大学）

IV 閉会挨拶

柳沢和雄（日本体育・スポーツ経営学会 会長/筑波大学）

## 開催趣旨

東日本大震災から3年が経ち、宮城県をはじめとした東北6県のスポーツ環境は徐々にではあるが日常を取り戻しつつあります。しかし、この震災によって活動内容を大きく変化させたクラブも少なくありません。会員確保、指導者不足、会費と言った総合型地域スポーツクラブに付随してきたこれまでの恒常的な課題とは異なるものが各クラブに重くのしかかっています。その一方で、地域と一体化する機会を前向きに捉え、積極的なスポーツを通じた支援活動を行ったクラブも多く存在しているのも事実です。

本会では、県下における震災後のクラブ活動に焦点をあて、各クラブの実際の声をその場で可能な限り集約し、震災と地域の繋がりや総合型スポーツクラブの関係性を再確認することを目的としています。また、震災後に生まれた現場での様々な知見、時にはスポーツの枠を越えた活動も含め、それらを多角的な視野にてクラブ関係者と研究者が共有し、今後のクラブ活動の方向性を見いだす機会としたいと考えていますので、どうか奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

◆日時：2014年9月27日(土) 13:00~17:00

◆場所：東北学院大学 泉キャンパス

〒981-3193 宮城県仙台市泉区天神沢 2-1-1

仙台市地下鉄南北線 泉中央(いずみちゅうおう) 駅下車 「泉キャンパス前」 行きのバスにて10分  
<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/access/> (ご参照ください)

◆参加費(資料代を含む)：正会員 1500円 学生会員 1000円

一般(社会人) 2000円 一般(学生) 1000円

※東北学院大学の学生及び宮城県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会メンバー、仙台市のスポーツ推進委員の方は無料です。

◆定員：基調講演及び講演は200名、パネルディスカッションは120名

◆主催：日本体育・スポーツ経営学会、東北学院大学

◆共催：宮城県体育協会

◆後援：仙台市、宮城県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

◆参加申し込み方法・お問い合わせ先

下記のお問い合わせ先に、メールやFAX、もしくはお電話のいずれかの方法で

①氏名、②連絡先(御住所、電話番号、メールアドレス)、③ご所属をご連絡ください。

## 講師略歴

★松村 和則氏

教育学博士(東北大学)/日本スポーツ社会学会理事/国際スポーツ社会学会理事他

主な著書：「現代スポーツの社会学」南窓社、「食・農・からだの社会学(増訂版)」南窓社他

★行實 鉄平氏

体育学修士(筑波大学)/日本体育・スポーツ経営学会会員/日本体育協会スポーツ少年団リーダー養成WG委員他

主な著書：「障害者スポーツの可能性」大学図書出版、「市民参加のまちづくり 地域の自立と持続可能性」創成社他。

## 〈お問い合わせ先〉

〒981-3193 宮城県仙台市泉区天神沢 2-1-1

東北学院大学 教養学部 天野和彦研究室(3号館6階3627号室)

TEL: 022-773-3396 Fax: 022-375-3472 (地域構想学科合同研究室)

E-mail: amano1965@gmail.com